

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	観光課長	廣川 正
市民-08	実施事業	観光振興支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 観光課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	地域が一体となった観光振興の推進

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光事業者、観光団体、市民・市民団体等様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

鎌倉花火大会、鎌倉ビーチフェスタ、俳句&ハイクなどに負担金を交付し、本市の観光振興を図った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		データ区分	01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人 口	176,466人		176,308人		人 口	176,436人		・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	81,150世帯		81,763世帯		世 帯 数	82,444世帯		
事業の対象者数					事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	12,069	23,454		当初予算(千円)	12,291		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	12,069	23,454		一般財源	12,291		
人員配置数	0.3	0.3		人員配置数	0.3			
人件費(千円)	2,622	2,737		人件費(千円)	2,544			
事業経費運営	総事業費(千円)	14,691	26,191		総事業費(千円)	14,835		
	市民1人当りの経費(円)	83	149		市民1人当りの経費(円)	84		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	鎌倉の観光を支える行事であり、また、それらの安全確保は必要な経費であることから、現状の事業を維持するため、予算規模も同程度を要する。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	引き続き、観光行事の支援と観光客の安全の確保を行っていく必要がある。
-------------------	------------------------------------

平成30年度(2018年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	鎌倉まつり、鎌倉花火大会、俳句&ハイク、鎌倉ビーチフェスタなど各行事が適正かつ効果的に運用されるよう、実行委員会を通して協働して取り組む。
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	観光協会が事務局を担う事業について、各事業の内容の確認を行い問題なく実施された。その他、各行事については、実行委員会を通じ、行事の進行管理を行った。
未解決の課題、新たな課題とその理由	今後は各負担金について見直しを図るとともに、花火大会実行委員会負担金、安全対策負担金のあり方、支出額について見直しを図っていく。

- 解決
 一部解決
 未解決

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成29年度) 単位:千人								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市
他市実績	20,424	16,480	3,028	7,655	6,115	8,210	977	6,311	51,431

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	横浜市に次ぐ数の観光客が訪れており、高い満足感が得られるよう行事を支援するとともに、安全面の確保についても万全の体制を整えていく必要がある。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)						単位	%	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			平成29年度 数値調査件数:511件 +18件 (WEB)
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0			
	実績値	79.2	79.5	76.6	78.9	88.1				
	達成率	93.2%	93.5%	90.1%	92.8%	103.6%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標とした数値に近い結果となっていることから、引き続き維持または向上させるよう努めたい。
-----------------------	--